

一般的移行方法 3: サードパーティの配備

1. アップグレード予定の製品のインストーラをダウンロードします。
 - a. 対象の McAfee ePO サーバーから [McAfee Agent Frame Package ファイルをダウンロード](#) します。
 - i. McAfee ePO にて、[システム ツリー] → [新しいシステム] をクリックします。
 - ii. システムの追加方法で、[エージェント インストール パッケージを作成してダウンロードする] を選択します。
 - iii. バージョンは Windows および 5.0.5 以降を選択します。
 - iv. [OK] をクリックして、McAfee ePO サーバーから有効な McAfee Agent インストーラをダウンロードします。
 - b. インストールしようとしている製品をそれぞれダウンロードします。これらの製品は、ソフトウェア カタログまたは McAfee 製品のダウンロード ページから zip ファイルとして入手できます。
2. サポートされているレガシー製品からカスタム ポリシー、クライアント タスク、およびその他の設定を移行します。手順については、[McAfee Endpoint Security 移行ガイド] を参照してください。(レガシー製品の設定を移行する場合のみ必要です。)
3. [Package Creator を使用してカスタムインストーラを作成します。](#)
 - a. Package Creator を開き、インストールする製品モジュールを指定し、[Next]をクリックします。
 - i. Endpoint Security と Endpoint Security Adaptive Threat Protection のインストーラの場所を指定します。これにより、必要な脅威対策、適応型脅威対策、および Endpoint Security プラットフォーム (共通) モジュールがインストールされます。
 - ii. 必要に応じて、インストールする他の Endpoint Security モジュールを選択します。
 - iii. 必要に応じて、インストールする Endpoint Security と Adaptive Threat Protection の更新を選択します。(Endpoint Security 10.5.3 以降にアップグレードする場合のみ利用可能です。)
 - b. インストールする他の McAfee 製品を指定し、[Next] をクリックします。
 - i. McAfee Agent のインストーラの場所を指定します。
McAfee Agent のインストーラは、フレーム パッケージ (FramePkg.exe) と呼ばれます。
 - ii. Endpoint Security と互換性のある McAfee Agent のバージョンをアップグレードするかどうかを選択します。
 - iii. インストールするオプションの McAfee 製品のインストーラの場所を指定します。

- c. パッケージの配備オプションを選択し、[Next] をクリックします。
 - i. 作成する製品インストーラの種類を[Deployment with third-party tools]に指定します。
 - ii. (オプション) Package Creator を実行するシステムとインストーラを配備するエンドポイントで作成されるログファイルのカスタムの場所を指定します。
 - iii. デフォルトではログファイルは
%windir%\Temp\McAfeeLogs\EndpointUpgradeAutomation.log に保存されます。
 - iv. (オプション) インストールする McAfee SysPrep の新しいバージョンを指定します。
 - v. (オプション) 使用するコマンドライン オプションを選択します。
 - d. (オプション) Package Creator の左上隅で、McAfee アイコンを右クリックし、[Advanced] を選択して追加オプションを表示させます。
 - e. 正しい情報が指定されていることを確認し、[Create] をクリックします。
4. カスタム インストーラをサードパーティ ツールのリポジトリへチェックインします。
インストーラを実行するには、アップグレードをインストールするエンドポイントのシステム権限が必要です。
サードパーティ ツールを使用して、エンドポイントにソフトウェアを配備します。
ベストプラクティス: サーバー環境での再起動の影響を考慮して、アップグレード後にエンドポイントを手動で再起動します。自動アップグレードは、配備後にエンドポイントを再起動しません。
5. [McAfee ePO でインストールと設定を確認します。](#)
- a. クライアント システムが McAfee ePO に報告するのを待ちます (通常は約 1 時間かかります)。
 - b. McAfee ePO にログオンします。
 - c. ソフトウェアがインストールされた管理システムとその状態の完全なリストを表示するには、コンソールから、[メニュー] → [ダッシュボード] を選択し、[Endpoint Security: インストール状況] を選択します。
 - d. 製品設定を保存した場合は、[メニュー] → [ポリシーカタログ] を選択して、設定が正しく保存されていることを確認してください。
レガシー設定を移行した場合、Endpoint Security ポリシーで移行した設定の場所の情報については、[Endpoint Security 移行ガイド] を参照してください。